

摂食障害センター設立に向けての第一回講演会のご案内

摂食障害には、著しくやせる拒食症（医学名：神経性食欲不振症）や過食発作を特徴とする過食症（神経性大食症）があり、患者数は1980年代から増加しています。主に若い女性がかかる病気ですが、最近では、児童や既婚女性、男性の発症も増えており、特別な人だけがなる病気ではなくなっています。

特に、神経性食欲不振症は栄養失調などの合併症による死亡率が7～10%で、若者の病気の中では高い死亡率です。また、無月経、成長障害、骨粗鬆症は後遺症になります。

摂食障害は慢性化しやすいので、身体や精神的な合併症によって学業や社会的活動、あるいは対人関係が著しく阻害されることも大きな問題です。発症すると本人の心身への影響が大きいだけでなく、家族の負担や社会的な損失も大きいと言えます。

わが国はアメリカやイギリスなどと並んで摂食障害の多発国といわれています。しかしながら、公的専門治療機関が皆無であるという驚くべき状況に置かれています。治療者の数も限られており、患者さんやご家族は治療機関を求めて駆け回らねばなりません。また、数少ない治療機関は多くの受診者を抱えて受診制限をせざるをえないという状況です。現在、日本摂食障害学会会員が中心になって摂食障害センター設立準備委員会 (<http://www.edcenter.jp.org>) を立ち上げ、署名活動、国会議員への請願などの活動を行なっています。

そこで、来る第16回日本摂食障害学会（学会長：国立国際医療研究センター 国府台病院 石川俊男、10月6～7日、政策研究大学院大学）の前日に、患者・家族の皆様や一般の方々を対象に講演会を企画しました。日本の摂食障害診療の実態と問題点について情報公開し、マスコミにも摂食障害の公的専門治療機関の必要性を訴える企画です。

ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

摂食障害センター設立準備委員会事務局
浪速生野病院 心身医療科部長 生野照子
事務担当：高橋美智子、武久千夏
edcenter.committee@live.jp

摂食障害センター設立に向けての第一回講演会 事務担当
政策研究大学院大学 保健管理センター
鈴木（堀田）眞理
電話：03-6439-6219 FAX：03-6439-6219
E-mail: marihs@grips.ac.jp



摂食障害センター設立準備委員会ロゴマーク

政策研究大学院大学案内図
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1

